

この子らと

第4号平成30年7月

まことの保育



七夕飾り付け

鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男

絵本の読み聞かせ クレパス



クレパスのみなさまには、読み聞かせなどを通して子どもたちの想像力や豊かな感性等を培っていただいております。

みなさまのやさしい声は金の鈴の音となって子どもたちの心に沁み込んでいきます。金の鈴の音は子どもたちが大きくなっていつまでも心の中で鳴り続けていくと思います。幼児期での絵本の読み聞かせは子どもたちのこれからの人生を豊かにしてくれます。子どもたちのためにありがとうございます。

“家庭での読み聞かせのコツ”

- 数分でもなるべく毎日読みましょう。
- 膝に乗せてよみましょう。背中越しに声が伝わることで安心感が伝わります。親子間の愛情が醸成されます。
- うまく読む必要はありません。子どもに一番身近な人が読むことに意味があります。

「いのち」を学ぶ

生きていること いま生きていること
それは のどがかわくということ
木漏れ日が まぶしいということ
くしゃみすること・・・

鳥は はばたくということ

海は とどろくということ

かたつもりは はうということ・・・略

(谷川俊太郎作) 一部引用

『生きていること、それは、植物は小さな種から芽を出し、葉や茎が育ち、やがて、なすやきゅうり

トマト、ピーマンなどの実をつけること、そして枯れていくことを子どもたちは体験すること』



子どもたちの育てた、なす、きゅうり、ミニトマト、ピーマンは大きく生長しました。

地域社会との交流



中町駐輪場での展示協力

子どもたちは、地域の人に可愛がられ、社会のルール・マナーを教えられ、生きる知恵を学び、地域の人々に育まれています。人は、見えるところ、見えないところで支えられて生きていることを多くの人々とかわりをもちながら学んでいきます。

夏の風物詩「プール遊び」



子どもたちの心を安定させる幼稚園に

☆ わたしには愛する人がいる。そして、愛されていると感じられる。

☆ わたしにはわたしを理解してくれる人がいる。一緒に過ごせる仲間がいる。ひとりぼっちでないと感じられる。

アドラーの言葉です。本園では、子どもたちに寂しい思いをさせないよう心配りをしていきます。